

A I ・ S N S 世代の新入社員を即戦力に変えるには

毎年4月になると、多くの企業で新入社員研修が行われます。しかし、近年、人事担当者の方からよく聞かれるのが次のような声です。

「最近の新入社員は優秀そうだが、どこか受け身に感じる」

「A I や S N S には慣れているが、仕事になると戸惑ってしまう」

「注意するとハラスメントを気にし、放置すると育たない」

こうした悩みの背景には、いわゆる「A I ・ S N S 世代」と呼ばれる新入社員の特性があります。これは能力の問題ではなく、育ってきた環境の違いであり、これを踏まえて教育を行わなければ、即戦力とすることはできません。

A I ・ S N S 世代の新入社員には、大きく分けて以下**3つの特徴**があります。

一つ目は**“即時性”**です。分からないことは、検索をすればすぐ答えが出る環境で育っているため、考える前に「正解」を求める傾向があります。

二つ目は**“評価への敏感さ”**です。S N S では反応の数が評価となるため、「どう見られるか」を常に意識しています。そのため、自身の評価を下げる恐れのある行動は、避けたがる傾向にあり、本来の仕事の目的を見失いがちです。

三つ目は**“効率志向”**です。遠回りや非効率を嫌い、最短ルートを選ぼうとします。これは仕事において大きな強みになりますが、プロセスを学ぶ機会を失いやすいという弱点も併せ持ちます。

これらの特性は、正しく導けば大きな武器になるでしょう。しかし、放置をすると、指示待ちや主体性不足といった新人が育ってしまい、今まさに多くの企業の悩みどころとなっているのです。

しかし、A I ・ S N S 世代の新入社員は決して育てにくい存在ではありません。むしろ、教え方次第では想像以上に早く成長する世代です。

例えば、弊社の研修では上記特徴を踏まえ、

- ・物事の背景や目的を考える本質把握力
- ・相手や状況に応じて伝え方を変えるコミュニケーション力
- ・正解がない場面でも考えて動ける判断力・質問力

といった、配属後すぐに求められる能力を修得することができ、弱みとされている点を大きな武器に変えるお手伝いが可能です。

また、例えば、A I の活用一つをとっても、「使ってはいけない」「頼りすぎるな」といった表面的な指導は行いません。逆に、A I をどう使えば仕事の質が上がるのか、どこからが自分の責任なのかを具体的な演習を通して理解していただきます。

新入社員研修は、社会人としてのスタートラインを整えるだけでなく、その後の成長スピードを大きく左右する重要な機会です。

弊社では、A I ・ S N S 世代の特性を前提に、企業が本当に求める人材像へ成長できる研修をご提案しております。

ご興味のある方は下記リンク、またはQRコードよりぜひお問い合わせください。

> お問い合わせはこちら

